

記入例

児童手当 認定請求書

嘉麻市長殿										提出年月日 令和 6・10・1		※受付確認年月日 令和 ・ ・				
請求者	①（ふりがな）	かま △△				②性別	男・女		③生年月日	昭和・平成 50・8・28		※認定・却下年月日		※支給開始年月		
	氏名 （法人名等）	嘉麻 △△				④職業	ア. 被用者 イ. 公務員 ウ. 被用者等でない者		⑤配偶者	有・無		令和 ・ ・		令和 年 月 月分		
	⑥住所 （法人の主たる事務所の所在地）	〒820-0292 嘉麻市岩崎1180番地1				電話 0948（ 42 ） 7459				ア. 厚生年金加入者（本人の社会保険） ウ. 国民年金加入者（配偶者等の社会保険の扶養・国民健康保険）						
配偶者等	⑦個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3				⑧請求者の加入している 公的年金制度の種別	ア. 厚生年金保険 イ. 国民年金 ウ. その他（ ） ※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○を記入してください。 （ ）私立学校教職員共済（ ）国家公務員共済（ ）地方公務員等共済				ア. 厚生年金保険：本人の社会保険 イ. 国民年金：配偶者等の社会保険の扶養、国民健康保険 ウ. その他：20歳未満、60歳以上等で年金未加入の場合					
	⑩（ふりがな）	かま ●●				⑪生年月日	昭和・平成 50・8・1		⑫職業	ア. 被用者 イ. 公務員 （勤務先： ） ウ. 被用者等でない者		⑬請求者の控除対象配偶者または同一生計配偶者の場合に○印	控除対象配偶者 同一生計配偶者		⑭同一生計配偶者：以下のいずれにも該当する方 ①前年の12月31日(1月～5月の受付の場合は前々年)において、請求者と生計を一にしている ②配偶者の合計所得金額が48万円以下 ③青色申告者の事業専従者として給与の支払を受けていない又は白色申告者の事業専従者ではない 控除対象配偶者：同一生計配偶者のうち請求者の合計所得金額が1,000万円以下の場合の方 西方に該当しない場合は○は不要	
⑯児童の兄弟等 （18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）	氏名	続柄	生年月日	監護相当の有無	生計費負担の有無	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	[注意] ⑯「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」は、本請求書と併せて「監護相当・提出ください。 （⑯児童の兄弟等と⑰児童の合計人数）								
	嘉麻 ◎◎	子	平成 17・5・1	有・無	有・無	同・別	令和 年 月									
				平成 ・ ・	有・無	有・無	同・別	令和 年 月								
⑰児童	氏名	続柄	生年月日	監護の有無	生計関係	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所 （別居の場合）	※児童との関係 該当する場合に○印	※第3子以降の場合に○印 （月額30,000円）	※3歳未満の場合に○印 （月額15,000円）	※左記以外の場合に○印 （月額10,000円）	※手当月額			
	嘉麻 □□	子	平成 23・5・1	有・無	同一・維持	同・別	令和 年 月	令和 年 月	○印	（月額30,000円）	（月額15,000円）	（月額10,000円）	円			
	嘉麻 ■■	孫	平成 6・5・1	有・無	同一・維持	同・別	令和 年 月	令和 年 月	○印	（月額30,000円）	（月額15,000円）	（月額10,000円）	円			
			平成 ・ ・	有・無	同一・維持	同・別	令和 年 月	令和 年 月	○印	（月額30,000円）	（月額15,000円）	（月額10,000円）	円			
			平成 ・ ・	有・無	同一・維持	同・別	令和 年 月	令和 年 月	○印	（月額30,000円）	（月額15,000円）	（月額10,000円）	円			
⑱支払希望 金融機関	名称	預金種別	支店コード	支店名	口座番号	口座名義										
	〇〇 銀行 金庫 信組 農協 漁協	普通・当座		△△支店	1 2 3 4 5 6 7	カマ △△ （請求者本人名義の口座に限る）										

①公金受取口座を利用する（チェックした場合は口座状況記入不要）

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。

受給者の判断基準
父母等のうち主に生計を維持している方
（原則、所得の高い方が受給者となる）
所得に差がない場合は、健康保険の扶養・税の扶養、世帯主が誰か等、総合的に判断